

次の飛躍へ確かな一歩への年に

2018年1月12日(金)、諫早市のL&L ホテルセソリュウで、連合諫早島原地協と諫早地区労の共催で合同旗開きを開催しました。

参加者は来賓14名、一般参加者64名、合計78名でした。多くの皆さんが参加される中、宮本諫早市長をはじめ

じめ多くの来賓の方から挨拶をいただき、和気あいあいの中で今年の新年旗開きも無事終了いたしました。

また、本年も多くの参加者のもと開催することが出来ました。関係諸団体の皆さんのご協力感謝申し上げます。



代表挨拶をする北嶋副議長（代読）



田尻副議長



小西連合長崎副会長

～新年のご挨拶～



連合長崎諫早・島原地域協議会構成組織の組合員ならびにご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかで心新たなお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、年頭に際しまして、3点について述べてご挨拶とさせていただきます。

一つ目は、災害からの復興の課題です。東日本大震災、熊本・大分地震、九州北部豪雨と自然災害から多くの方々が被害に遭われたことに衷心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災では、日本国内で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が1万人を超えたのは戦後初めてであります。また熊本・大分におきましても懸命に復旧・復興に取り組まれているところですので、その先頭には、私たちの仲間がいます。そういう献身的な仲間とともに被災地、被災者の方の声を傾け、その思いを結ぶることなく行動を続けなければならないと思います。私たち連合に結集する仲間と被災地、被災者と連帯し、「安心で、安全な社会」を作るために様々な形で支援を続けていきたいと思っております。

二つ目は、政治の課題です。戦争関連法案、年金法案に対して国民の意思を無視して十分な論議がなされないままの強行採決で安倍政権は独裁の色が濃くなってきました。また、加計・森友学園問題に対しては、疑惑隠しのための解散総選挙でした。経済政策では、働く者に犠牲を強いてさらなる貧困の格差を犠牲の上で達成しているという意図のようになっています。アベノミクスは、軍備増強が可能になる状況作りをねらいとしているようです。明るい兆しとしては、国民の怒りがだんだんと共闘という形で広がりをを見せていることです。平和、経済、労働規制緩和など政治の課題があります。全ての働く仲間の結集をして、「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で働く者に頼りになる存在」である労働組合のパワーを発揮できるように団結して頑張っていきたいと思います。

三つ目は、2018春季生活闘争です。「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上を図るため、労働組合が「けん引役」を果たす闘争です。労働者を労働力ではなく人として尊重する社会の実現のために、これまで労使で確認してきた労働三原則「雇用の維持・拡大」「成果の公正な分配」の重要性を社会的な合意としていかなければならないと思っております。全ての働く者・国民の生活の底上げを図るため、『すべての労働者の立場に立つて働き方を見直そう！』『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノゾコアゲ!』をスローガンに掲げ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向かって闘いましょう。

今年も、一つ一つの運動が重要な意義を持ってきます。私達の粘り強い闘いがこれからの地域や国の将来に多大な影響を及ぼすことになると思っています。仲間と団結・連帯し運動をさらに前進させていくために、今後とも皆様の旧に倍します御支援をお願いいたします。そして2018年が皆様とご家族におかれまして希望に満ちて輝かしい一年となりますよう御祈念申し上げます。

発行：連合長崎諫早・島原地域協議会
発行責任者：入江良美
住所：諫早市宇野30-30
電話：0957-21-2575

「労使の協力と協議」

STOP 長時間労働と街頭行動



諫早駅前配布



参加の皆さんお疲れさまでした

全国一斉集中労働相談ダイヤルの街頭行動を2017年12月7日(水)18時～諫早駅前周辺で実施しました。当日は午後から雨模様の予想の中、とにかく空も持ち、寒い中屋外での行動が無事に終了しました。当日参加者11名と少数ではありましたが無事に「STOP! 長時間労働とあなたの働き方は大丈夫?」のチラシを入れた、ティッシュを配布しました。参加者の皆さん寒い中で協力ありがとうございました。

アジア・アフリカ支援米発送式

2018年1月15日(月)12時30分から長崎市役所前広場で「アジア・アフリカ支援米発送式」を執り行いました。連合長崎は1997年から県下各地で田植え・稲刈りをし、アジア・アフリカで飢餓に苦しむ皆様へお米を届けています。今年も県下8地区(長崎、佐世保、北松、大村、諫早、島原、五島、対馬)で実施、収穫したお米1950キロと購入米を合わせて3000キロをアフリカのマリ共和国とカンボジアのくっくま孤児院に送られるそうです。



連合諫早・島原地域協議会 議長 大木 豊